

講演要旨

1. 13時10分～13時30分（20分）

「タイ王国・北タイの旅」－タイ文化圏 Study Tour の記録、2011年2月&7月－ AACK 前田 栄三

北タイではアカ・ラフ・リス・カレン族など 20 以上の少数民族が暮しており、総数は大よそ 100 万人と見られている。国境の無い時代に山の民・森の民として自由に暮して来た彼らにも、近現代の時代の荒波は容赦なく降り注いできた。一方、この北タイの地域は、ビルマ戦線なかんづくインパールに敗れた日本兵が命からがら辿りつき、遂に力尽きていった地でもある。各地に残る慰霊碑を紹介し、哀悼の意を表したい。

2. 13時30分～14時10分（40分）

「中国チベット自治区・納木那尼（ナムナニ）峰(7694m) 南東壁登攀」－2011年秋の記録－
アルパインクライマー 平出 和也

チベットのナムナニ峰(7694m)から無事生還しました。未踏の南面をいろいろ踏査して、未踏の氷河から未踏の南峰を登り、主峰へと縦走し、北西面ノーマルルート(と言われているが登頂数は僅か)の最悪なセラック&クレバス&岩なだれ地帯を下った。登攀ルートと下降ルートが同じでないというのは、チベット登山協会的には問題無しとしないのだけれど、危険のため仕方がなかった(後付け)ということにして、念願のナムナニ縦走を達成させた訳でした♪。(平出さんの HP より、1 部表現を変えて掲載)

3. 14時15分～15時05分（50分）

「中国雲南省におけるモン（ミャオ族）の服飾文化とその変化」 一文山壮族苗族自治州

文山県を中心に－

総合研究大学院大学文化科学研究科博士課程 宮脇 千絵

雲南省文山壮族苗族自治州のモン（ミャオ族の下位集団）の服飾は、細かいプリーツのついたスカート、藍によるロウケツ染め、カラフルなクロス・ステッチ（刺繍）が特徴的です。しかしこの 10 数年で、染織をおこなう機会が減少したり、工業生産された化繊布が市場で入手できるようになったりと、服飾をとりまく状況は大きく変化しています。今回の発表では、蒙の服飾のなにがどのように変化しているのかを紹介します。

4. 15時15分～16時05分（50分）

「ブータン王国の山菜」－野生植物の食用利用とその伝統的知識について－

信州大学大学院農学研究科 松島 憲一

演者ら信州大学とブータン農業省の共同研究チームは、2005 年より 6 年間にわたりブータン王国で食用利用されている山菜などの野生植物についての現地調査を行ってきた。この調査は同王国全 20 県の農村、市場等において行われた。この結果、6 科 18 種のシダ植物の若い葉が、60 科 172 種の種子植物の葉、花、果実、根などが食用利用されていることが明らかになった。現地では苦味のある植物が好まれる他、日本の山菜と共通する植物種もみられた。

5. 16時10分～17時10分（60分）

「地上と上空から見たヒマラヤの変貌」 名古屋大学名誉教授（氷河学）、AACK 上田 豊

ヒマラヤで氷河観測を始めた 1970 年代には、地球の気温はやや下降気味で氷河の拡大が予測されたが、1980 年代から温暖化が始まった。氷河の縮小は、ローカルにはその融け水を利用する周辺地域の水資源にかかわり、また氷河末端の湖が拡大し決壊災害を起こすおそれもある。他方グローバルには、地球の海面上昇につながる。ヒマラヤで起きている氷河・氷河湖の変動、また雪の山々の変貌を、1960 年代からの地上写真と 2007 年の空撮写真等から見てみましょう。